

2013
長野の酒メッセ
IN
東京
NAGANO no SAKE MESSE in Tokyo

今年も信州の日本酒が
東京に大集合！
人気絶大の試飲イベント
会場は熱気いっぱい



日本酒ファン待望の試飲イベント「2013 長野の酒メッセ in 東京」が、5月15日の13時～20時まで、東京港区のグランドプリンスホテル高輪で開催されました（13時から卸・小売・料飲関係者。16時から一般来場者）。今回は、県内56の蔵元が300種類以上の自慢の日本酒を出品。1300人を超える来場者が殺到した会場では、半日にわたって、例年どおりの熱いきき酒風景が繰り広げられました。



◀「人がいっぱいウキウキしますね」「長野のお酒は女性好み。涼げでしょ」（参加者）
和服姿は「長野の酒メッセ」の風物詩。



10回目を数える長寿イベント。手ごろな参加費も人気の秘密



手ごろな入場料(一般 2500 円。和服着用で 500 円引きなど特典付き)で、信州の銘酒をまるごと試飲！そのシンプルな企画が人気を呼んで、毎年おおぜいの来場者が詰め掛ける「長野の酒メッセ」。既に 10 回目を数える長寿イベントです。県酒造組合の今井用一会長によれば「今年は業界限定の試飲を一時間延ばしてゆとりを持たせました」とのこと。会場は、蔵元との酒談義を楽しみながら、くつろいだ様子できき酒を楽しむ来場者で終日賑わっていました。



今井会長



◀ 業界関係者限定の試飲も盛況。真剣にメモを取る人があちこちで見られました。

▶ 長野県原産地呼称「長野モデル認定酒」のきき酒コーナー。「品質の目安になりますね」(参加者)



長野県の観光PRキャラクター・アルクマも特別出演



◀ 会場の一画では、日本酒の安全を訴えるパネルを展示して、原発事故の風評被害に対応。



▶ アンケートに答えると、抽選で 15 名に「北信州みゆき産幻の米 10 kg」をプレゼント。

